

「OSAKAなんみんハウス」 なんみん支援のセンター目指して！



RAFIIQ (在日難民との共生ネットワーク)

田中恵子

RAFIQ

(在日難民との共生ネットワーク ・・・とは

- * 読み方 ラフィック
- * 意味は ペルシャ語 アラビア語で友だち
- * 2002年に発足
- * 初めて支援したのはアフガニスタン人
関西で唯一の難民支援団体なので、
様々な支援を行なっている。



2016年10月より大阪市内に新事務所 「なんみんハウス」開設

رافيق
RAFIQ





「OSAKAなんみんハウス」のオープンに向け、玄関や部屋を改修する支援者たち＝大阪市淀川区

難民認定支援 市民もタッグ

団体、大阪にあず拠点開設

名称は「OSAKAなんみんハウス」。地下鉄御堂筋駅御堂筋3丁目駅から徒歩約5分の大阪市内に、難民認定支援者たちによる拠点施設がオープンした。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの活動をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの活動をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。

生活もサポート。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの生活をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの生活をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。



「OSAKAなんみんハウス」のオープンに向け、玄関や部屋を改修する支援者たち＝大阪市淀川区

ニュース見て、建物を無償提供

日本での難民認定を求める人たちが求める拠点を求めている。大阪市内に、難民認定支援者たちによる拠点施設がオープンした。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの活動をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。

生活もサポート。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの生活をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの生活をサポートする。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。

2016年(平成28年) 9月30日 金曜日

朝日新聞 関西版



あすは何の日 郵政民営化 (2007年)

朝日新聞大阪本社 〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18 電話 06-6221-0131 www.asahi.com

学会分科会・子ども発表会 展示販売会なら... A&Hホール 検索 TEL06-6873-2607

月刊タカラヅカ 3面 入団17年目の初主演。大酒飲み、大酒飲みの嫌われ者という役柄に風采海斗は「下級生だったら傷ついちゃうぞ」と言い、でんと構える。

☆ 季節の変わり目、喉の調子にご注意を。 喉の調子にご注意を。 喉の調子にご注意を。

天気 30日 9月 31日 10月 大阪、神戸、東京、京都、奈良、和歌山、香取、宮城、秋田、青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

あすから見学会 OSAKAなんみんハウスの見学会は、10月1日(土)の午後1時から午後5時、予約は不要です。参加費は無料です。お問い合わせは、事務局 (06) 6221-0131 まで。

住宅所有者の女性が 無償で提供:「中東から欧州へ逃れる難民のニュースを見、日本にも難民がいることを知り自分でも何かできることはないかと…」

10月1日現在、約500人の難民認定者が日本にいます。そのうち、約50人が大阪市内に在住しています。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動しています。市民もタッグを組んで、難民認定支援者たちの活動をサポートしています。日本に難民認定された人の数は、10月1日現在、約500人。そのうち、約50人が大阪市内に在住している。大阪市内には、約10の団体が難民認定支援者として活動している。

外観 築約50年普通の民家です。



1Fは RAFIQ事務所



2F 資料室 学習室 シェルター



RAFIQの「なんみん」支援



関西の難民申請者 (人)

The Refugee Statistic in Osaka area

	全国		大阪	
	2015	2016	2015	2016
難民申請	7,586	10,901	122	152
認定	27	28	1	3
在特者	79	97	NA	11

大阪入管へ問い合わせた数

法的支援

難民申請から認定までのサポート

- ・約30名に支援。
- ・支援又はアクセスしてきた難民の出身国・・・
アフガニスタン・イラン・イラク・
ガーナ・ナイジェリア・エジプト・
イエメン・バングラデシュ・セルビア・
ペルー・ベトナムなど
- ・大阪入管に収容されている難民からの面会要請 6月は16名。



難民との面談風景

生活支援 住居の提供 2Fは緊急用の住居 (シェルター)

住居の必要な難民からのアクセス

- 大阪入管、大村入管に収容されている難民から、仮放免の為の住居
- 公園でテント生活をしている難民
- 日払いの安い宿でくらしている難民
- 同国人や知人がとりあえず、同居させてくれている難民。



生活支援「ふーどばんくOSAKA」 からの食料支援

仮放免・仮滞在中で就労が出来ない難民、
難民申請の特定活動の在留資格で、最初の
6か月就労が出来ない難民などが対象。



なんみんハウスに集まる市民たち 会員・ボランティアが増えています。



* 仮放免お祝いの会



* RAFIIQ忘年会

なんみんハウスオープンデーに 2日間で約100名が訪問



رفیق
RAFIQ

毎月開催の難民初級講座 10月からはほぼ定員(8名)いっぱい。 特別講座も含めて約70名参加



高校生に特別講座



難民初級講座

難民と一緒に暮せる街に！

Creating a town
we can share with
refugees

「なんみん」にもやさしい街は
あなたにもやさしい街のはず・・・
ホームページ ツイッター フェイスブックを見てね